

映画を見ながら気づいた、面白い本の読み方。

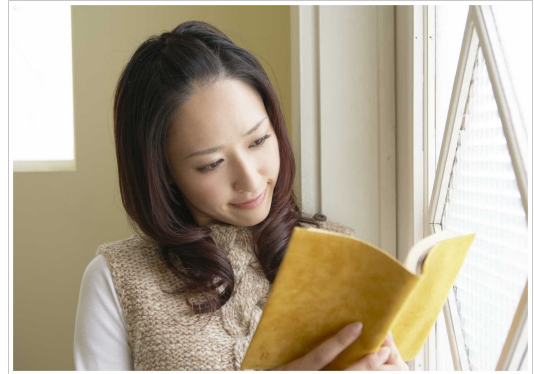
私は、映画が大好きです。

映画を見ていると「面白い撮影手法だな」と思って、釘付けになることがあります。

冒頭、いきなりクライマックスから始まる手法です。

映画が始まるやいなや、いきなりクライマックスから始まります。

最初は、何が始まったのか、意味がわかりません。



しかし、盛り上がっている様子はよく伝わってくるため、釘付けになり「つかみ」の効果が得られます。

しばらくしてから、物語の最初に戻り、時系列で物語が進んでいきます。

私は映画をよく見るのですが、ある日「おや。この手法は、本にも使えるのではないか」と思いつきました。

本を読むとき、いきなり「あとがき」を読んでから、1ページから順番に読み始める方法です。

やってみると、ビンゴでした。

あとがきは、いわゆる、クライマックスの部分です。

本全体の要約や、著者の強い思いが書かれていたりします。

最初に「あとがき」を読むことで、クライマックスが感じられ「つかみ」ができるのです。

「なるほど。面白そうな本だな」という気持ちが強くなり、本を楽しく読み進めることができるようになります。

すべての本で通じる法則ではありませんが「そういう読み方もある」ということで、知っておいても損はありません。

一風変わった読み方ですが、本を面白く読み進められます。

つまらない人生を楽しくする言葉 その7

いきなりあとがきを読んでから、1ページ目から順番に読み進めてみる。